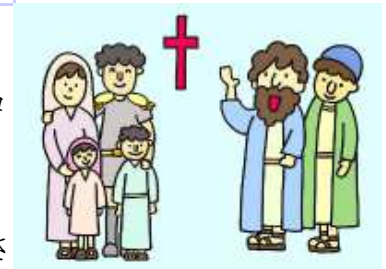


メッセージアウトライン

| | |
|------|------------|
| 日付 | 2019年9月8日 |
| 単元 | 使徒の働き・2 |
| テーマ | 伝道と神の助け |
| タイトル | 牢をやぶるチカラ |
| テキスト | 使徒16:16～40 |
| 参照箇所 | 使徒16:1～15 |
| 暗唱聖句 | 使徒16:31 |

| | |
|-----|--|
| 導入 | もし何かの間違いで刑務所に入れられてしまったら、どうしますか？ |
| I | <p>パウロとシラスは、ピリピで牢屋に入れられてしまいました(16-24節)</p> <p>A. パウロとシラスは、イエスさまの救いを伝える旅行をしていました</p> <p>B. 二人はピリピの町で、女奴隷にとりついた占いの霊を追い出しました</p> <p>C. その女の主人たちは、占いでもうけることができなくなったので、怒ってパウロとシラスを役人に訴え、彼らを牢に入れました</p> |
| II | <p>パウロとシラスが賛美をしていると、大地震が起こって牢の扉が開きました(25-26節)</p> <p>A. パウロとシラスは鎖につながれて、看守が厳重に彼らの番をしていました</p> <p>B. パウロとシラスは牢の中で、真夜中に祈りつつ神さまを賛美していました</p> <p>C. その時、神さまは大地震を起して、牢の扉を開き、囚人たちの鎖を解かれました</p> |
| III | <p>看守とその家族がイエスさまを信じて救われ、パウロたちは釈放されました(27-40節)</p> <p>A. 看守は、囚人が逃げたと思い自殺しようとしたが、パウロに止められました</p> <p>B. 看守はパウロ、「救われるためには何をしなければなりませんか」とききました</p> <p>C. パウロが看守とその家族に福音を伝えたので、全員イエスさまを信じて洗礼を受けました</p> |
| 結論 | 神さまは、パウロとシラスが牢屋の中で賛美したとき、不思議な力で助けてくださり、福音を広げる働きを進めてくださいました。 |
| 適用 | 困難があっても、神さまを信頼し、賛美するとき、神さまは必ず助けてくださいます。みんなは牢屋に入ったことはないけど苦しいことはあるよね。どんなときも、まずイエスさまを見上げて祈り賛美しよう！私たちが熱心に福音を伝えようとするとき、神さまご自身が、その働きを不思議な力で押し進めてくださるのです。あなたがお友だちを教会に誘うとき、どんな困難がありますか？まだイエスさまを信じていないお友だちは、イエスさまを信じよう。そうすればあなたの家族も救われます。 |
| 備考 | |



メッセージアウトライン

| | |
|------|---------------|
| 日付 | 2019年9月15日 |
| 単元 | 使徒の働き・2 |
| テーマ | 伝道する |
| タイトル | 語り続けよ～第2回伝道旅行 |
| テキスト | 使徒18:1-11 |
| 参照箇所 | IIテモテ4:2 |
| 暗唱聖句 | 使徒18:9 |

| | |
|----|--|
| 導入 | イエス様のことを伝えるのに、「恥ずかしいなあ」と思ったり、勇気がでなかったりするかもしれません。恐れていない人に、「恐れるな」とは言いませんね。恐れているから「恐れるな」と言われます。実はねえ、あの大伝道者パウロが「恐れるな！」って神様から言われたのです。パウロもイエス様のことを伝えるのに、恐れる時があったようですね。 |
|----|--|

| | |
|---|---|
| I | <p>パウロは、コリントで宣教の助け手が与えられました(1-5)</p> <p>A. アクラとプリスキラという夫婦の家に住み、一緒に仕事(天幕作り)をしました(2, 3)</p> <p>B. シラスとテモテもやってきたので、みことばを教えることに専念できました(5)</p> <p>C. パウロは、イエスがキリストであることをユダヤ人たちにはつきりと宣言しました(5)</p> |
|---|---|



| | |
|----|--|
| II | <p>パウロの宣教に反対する人もいましたが、多くのコリント人がイエス様を信じました(6-8)</p> <p>A. ユダヤ人はパウロに反抗して、暴言を吐きました(6)</p> <p>B. しかし会堂管理者のクリスポは、家族みんなでイエス様を信じました(8)</p> <p>C. そして多くのコリント人もイエス様を信じて洗礼を受けました(8)</p> |
|----|--|

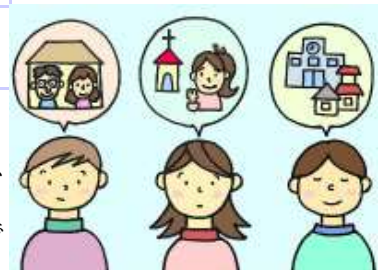


| | |
|-----|---|
| III | <p>パウロは、主に励まされながら神のことばを語り続けました(9-11)</p> <p>A. ある夜、主は幻の中でパウロを励ました(9)</p> <p>B. 主はパウロに「恐れなくて語り続けなさい。この町にはわたしの民がたくさんいる」と言われました(9-10)</p> <p>C. 主に励まされたパウロは1年半、腰を据えて神のことばを語り続けました(11)</p> |
|-----|---|



| | |
|----|--------------------------------------|
| 結論 | 恐れなくて、主に励まされてイエス様のことを語り続けましょう |
|----|--------------------------------------|

| | |
|----|---|
| 適用 | 恐れなくて語り続けるために、(1)パウロにも助け手が与えられたように、お互いに名前をあげて、家族や友達がイエス様を信じるように一緒に教会に誘ったり祈りましょう。(2)もしかするとイエス様のことを「信じない」って反対する人がいるかもしれませんが、信じる人も必ずいることを私たちがまず信じましょう。(3)今住んでいる町や市には、神様の民が大勢います。どのように伝道したら良いかみんなで考えよう。 |
|----|---|



| | |
|----|--|
| 備考 | |
|----|--|

メッセージアウトライン

| | |
|------|------------|
| 日付 | 2019年9月22日 |
| 単元 | 使徒の働き・2 |
| テーマ | 伝道と神の助け |
| タイトル | エペソでの伝道 |
| テキスト | 使徒19:1～41 |
| 参照箇所 | |
| 暗唱聖句 | 使徒19:20 |

| | |
|-----|--|
| 導入 | おともだちにイエスさまの話をして笑われるのは、悲しいですね。パウロさんはどうだったのでしょうか？ |
| I | <p>パウロは力強くエペソで伝道をしました(1-20節)</p> <p>A. パウロが手を置いて祈ると聖霊が下りました</p> <p>B. 2年間毎日語ったので、ユダヤ人もギリシャ人も福音を聞きました</p> <p>C. 悪霊を追い出し、魔術を行っていた人も悔い改めました</p> |
| II | <p>銀細工人デメテリオが伝道に反対して騒動を起しました(23-28節)</p> <p>A. 銀細工人デメテリオたちはエペソの女神アルテミスの神殿の模型をつくってもうけていました</p> <p>B. パウロは「手で作った物など神ではない」と言ってイエスさまを宣べ伝えていました</p> <p>C. 銀細工人たちは、イエスさまを信じる人が増えると、アルテミスを拝む人が減り、商売が成り立たなくなるので、パウロの伝道に激しく反対しました</p> |
| III | <p>町中がたいへんな騒ぎになりましたが、神さまは助けを備えてくださいました(29-41節)</p> <p>A. 劇場は大論争となり、どうにもならなくなりました</p> <p>B. そこにかけつけた町の役人が、良い方法を教え群衆を解散させました</p> <p>C. パウロたちも大混乱から助け出されました</p> |
| 結論 | パウロは宣教活動の中で、たくさんの困難にあいましたが、神さまに守られて、福音は力強く広がっていきました |
| 適用 | 町の役人が助けてくれるとは思ってもよらないことですが、確かにこの混乱を抑える知恵と力をもつのは町の役人だけだったのです。パウロの宣教は、たいへん勇ましく激しいものでしたので、迫害や困難もたくさん受けました。しかし、だからこそ、神さまのすばらしいみわざを表したり、不思議な力で守られたりすることもたくさん体験することができたのです。あなたも、恐れないうみことばを伝える人になりましょう。困難があるかもしれませんが、それによって、神さまのみわざがあらわされ、神さまが必ず守ってくださることを信じよう！ |
| 備考 | |



メッセージアウトライン

| | |
|------|--------------|
| 日付 | 2019年9月29日 |
| 単元 | 使徒の働き・2 |
| テーマ | 使命を全うする |
| タイトル | ローマにたどり着くパウロ |
| テキスト | 使徒27章、28章 |
| 参照箇所 | 使徒21～26章 |
| 暗唱聖句 | IIテモテ4:7 |

| | |
|-----|--|
| 導入 | あなたは何かをしようとして(毎日日記を書こう、毎朝ジョギングをしようなど)途中であきらめたり、イヤになってやめたりしたことはありませんか？ |
| I | <p>パウロは囚人としてローマへ行くことになりました(21-26章の簡潔な説明)</p> <p>A. パウロは世界の中心であるローマへ行って福音を伝えたいと願っていました(19:21)</p> <p>B. パウロは捕らえられ、殺されそうになり、裁判にかけられ、何度もピンチになりましたが、神さまは「あなたはローマでもあかしをしなければならぬ」と言ってパウロを守られました(23:11)</p> <p>C. パウロは、囚人としてローマに行くことになりました(25:1-26:32)</p> |
| II | <p>ローマへの航海はたいへん困難でしたが、神さまが守ってくださいました(27:1-28:13)</p> <p>A. 船は、激しい暴風にみまわれましたが、神さまはパウロを必ずローマに着かせると言って、守ってくださいました</p> <p>B. 船は難破しましたが、神様の守りの中乗組員は全員無事にマルタ島に上陸しました</p> <p>C. マルタ島でも神さまの力を現すパウロは尊敬されました</p> |
| III | <p>パウロはついにローマに到着し、みことばを宣べ伝え続けました(28:14-31)</p> <p>A. 3か月後、アレキサンドリアの船に乗ってローマに行く事ができました</p> <p>B. ローマでは番兵付きの家に住むことができました</p> <p>C. パウロは訪ねて来る人々に福音を伝え続けました(諸教会へ手紙を書いて教え、励ました)</p> |
| 結論 | パウロは、ローマで宣教する使命をあきらめないでチャレンジしつづけたので、神さまはパウロを守り、それを成し遂げてくださいました |
| 適用 | パウロは最後まであきらめないで福音を伝え続け、神さまは、パウロを守り祝福してくださいました。あなたも神さまからの使命をいただきましょう！そしてそれを最後までやり通しましょう！神さまはあなたに何をしたいと願っておられるのでしょうか？心配することはありません。最後まであなたを守り、祝福し、その使命を達成させてくださるのは、神さまご自身です。 |
| 備考 | |

